

会議要録

会議の名称	平成２３年度 第１回文化財保護委員会
日 時	平成２３年４月２７日（水）午前１０：００～
場 所	和光市役所 ４階４０２会議室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】１０名中、８名が出席 田中明、副島元子、富岡進、小田部玲子、矢崎康彦、後藤友子、磯崎茂、森朋久 ※欠席者：２名 柳下稔、鈴木夕季 【事務局】 大久保昭男（教育長）、富澤勝広（教育部長）、星野裕司（生涯学習課長）、 亀井義和（生涯学習課長補佐）、鈴木一郎（文化財保護担当統括主査） 中岡貴裕（文化財保護担当）、渡辺潤（文化財保護担当）
傍 聴 者	１名

１ 開会

事務局から次の事項を確認。

- ①本日の会議は公開である。
- ②会議録は要点記録とし、作成後公開する。
- ③会議中、会議の様子を撮影し、必要に応じて和光市ホームページ等で公開する。

２ 教育長あいさつ

３ 文化財保護委員長あいさつ

４ 協議・報告

（１）平成２２年度事業報告について

<生涯学習課より説明>

- ・生涯学習課より、別紙資料に沿って概要説明。

<質疑>

- ・東日本大震災の影響を受けた文化財・資料はあるか。

→【生涯学習課】

市内の文化財について確認したところ、特に被害は生じていなかった。

ただし、文化財保存庫に収蔵していた市内出土遺物のうち、数点が落下し、破損する被害を受けた。それらについては、現在修復作業に取りかかっているところである。

- ・他の自治体の博物館等でも被害があったことを確認している。震災の被害が土器のみであったことは不幸中の幸いであるにとらえたい。しかし、資料の保管設備等の見直しのきっかけにする必要があるのではないか。資料館並みの保存設備を持つ必要性があると思われる。

（２）和光市文化財保護条例に基づく文化財の指定について（答申）

＜委員長より報告＞

昨年度の 11 月 8 日付で市教育委員会より、「漆台遺跡第 1 号住居跡出土須恵器円面硯及び伴出遺物」の文化財指定について、諮問を受けたところである。この件については、副島副委員長を中心に検討会を設けていたが、その結果についてははじめに副委員長から報告をお願いしたい。

＜副島副委員長より検討結果の報告＞

前回の会議で、自分と森委員で検討と答申（案）を作成することになっていたのに、報告する。

指定の検討にあたり、2 月 17 日に副島・森・後藤の 3 委員と、文化財保護担当の中岡・渡辺の両職員とともに、所沢市埋蔵文化財センターの根本靖主査を訪問し、ご意見を伺った。その結果を軸に、副島・森で内容を検討し、最終的に素案をまとめた。また、須恵器円面硯の 1 点だけを指定するか、伴出遺物を含めた一括指定とすべきかを検討したが、搬出遺物も含めた指定とすべきであると考えたので、答申（案）は一括の指定となっている。

※素案は別紙のとおり。

＜委員長＞

- ・各委員で意見等はあるか。
→【一同】異議なし。
- ・では、検討結果の案を文化財保護委員の答申書とし、市教育委員会に答申してよいか。
→【一同】異議なし。
⇒審議の結果を教育長に対し答申した。

（３）長照寺大イチョウ剪定・土壌改良の完了報告について

＜生涯学習課より説明＞

前回の会議でお知らせしたとおり、市指定文化財長照寺大イチョウについて、1 月下旬から保護措置としての剪定作業が行われた。

＜委員長＞

本件については、前回の会議で樹木医有資格者の小田部委員に立会をお願いしたので、小田部委員から報告をお願いしたい。

＜小田部委員報告＞

以下、要点を抜粋。

- ・当日は風も無く、作業は何事も無く進めることができた。

- ・イチョウは落葉樹であるので、今回は冬にあわせて剪定作業を実施した。
- ・NPO法人樹木生態研究会は堀大才先生を代表とする団体であり、同団体に剪定作業を依頼することができたため、ボランティア的に対応していただくことができた。
- ・通常の剪定業者では太い枝を切ってしまうなども心配されるところだが、市指定文化財としての保護措置を前提に、樹形等も維持しながらの作業を行った。また、道路側に事故が無いように配慮した。
- ・先に実施した診断でも明らかであるように、イチョウは空洞化していることは事実である。今回の剪定及び土壌改良は、現在考え得るできる限りの方法で対応した。それでも枝の落下等による被害を懸念するのであれば、何か警告文のような看板を設置したほうがよい。
- ・今回実施した調査の内容は公開すべきではないか。
- ・今回の剪定によって刈り取られた枝を自宅に持ち帰って挿し木したところ、20本ばかりの芽が出てきた。今後、市有地に移植するなどして、大イチョウのDNAを残していければと思う。

<質疑>

特になし。

(4) 午王山用地取得後の活用について

<事務局より説明>

平成22年度に午王山遺跡の土地を一部購入し、現在その活用について検討している。

4月26日から3日間の間、購入した土地について遺構を傷つけないことを前提に、将来的な遺構復元を視野に入れた確認調査を実施している。本日の会議終了後、現地視察を予定しているので、現場を直接確認の上、今後の活用についてご意見をいただきたい。

→会議終了後、出席委員全員で現地視察を実施した。

<質疑・意見>

特になし。

(5) その他

<生涯学習課長より報告>

先ほど答申いただきました結果について、28日の教育委員会定例会に報告し、承認を得た後、新たな文化財として告示するので、ご承知おき願いたい。

5 閉会